

# 子ども総合センターだより

あした

## 明日もしあわせ通信 (第49号) 令和2年7月号

### 特殊詐欺にご用心！！

NHKスペシャル「詐欺の子」という番組を見ました。

受け子役の中学生(14歳)が、携帯を持たされ、ぶかぶかの背広を着て、指示された通りに動く。お客さん(対象の家)に会い、「経理の田中です」と言って、現金300万円を受け取る。受け取ったお金で、仲間同士で飲み食いをする。中学生には、「お疲れさん、よくやった。これで仲間だよ。」と言って3万円渡す。

詐欺集団は、組織化されており役割分担がきちんと決まった会社のようなものである。月に1億稼ぐこともある。「お年寄りには金を回さんからいかなのだ。死んでいるお金を世の中に出させる。」と言いながら詐欺を繰り返す。一方、被害にあったお年寄りは、ただただ息子を助きたい一心であったのに、周りから責められ、自分を責め、そして自殺する。

今、そんな社会が動いています。これでいいとは誰も思っていないはずなのに……。



詐欺集団は、手を換え品を換えやってきます。今年になって、新型コロナウイルス感染症に関係した詐欺が増加していると聞きます。不審な電話やメール等を受けた際は、詐欺被害にあわないように、身近な人や警察署、市役所等にご相談ください。決して一人で悩まないように！

(k・H)



### 適応指導教室「はばたき」 ～体験活動から充実感とエネルギーを～

長期間臨時休業となっていたはばたき教室も5月25日から開室し、午前中は教科学習に取り組み、午後からはスポーツや体験学習に取り組んでいます。

先日は「ものづくり体験」に挑戦しました。ペットボトルを使ったピーク(フライング・リング)や紙を使った装飾品を作りました。

ピークづくりでは子どもたちが説明書を見ながらカッターで切ったり紙やすりでこすったりしながら仕上げていきました。飾りづくりではタブレットで作り方を自分で調べ、複雑な飾りづくりに挑戦しました。工夫することの面白さを知り、でき上がった作品に子どもたちは大満足！

その後、自分で作ったピークをしおさい公園に行って飛ばしました。その時の子どもたちの生き生きとした顔や笑顔がとても印象的でした。

「失敗しても自分で実際に作ってみる」ことで集中する力が身に付き、達成感や充実感も味わうことができます。このような体験は、きっと子どもたちが社会に出ていくときのエネルギーにつながると思います。



(ペットボトルやアルミ缶で作ったピーク)



(紙の装飾品づくり)

はばたき教室連絡先(電話番号089-989-5022 直通の携帯080-2974-4581)



## 楽しみにしています

アサギマダラ。

フジバカマの発するクマリンという物質を求めて2,000キロメートルも飛ぶという蝶です。体長はわずか4～5センチ。風に乗ってやってくるとはいえ、驚きです。

名前を耳にしたことはあっても、どこか遠いところにいたその蝶が身近なものになったのは、一昨年。小さな苗と美しい写真との出会いがきっかけでした。浅葱色と黒の蝶と、淡いピンクの花と、青くて広い空の写真でした。

いただいた苗を大切に育て、秋を迎えて花が咲き、今日来るか明日来るかと楽しみにしていたのに、アサギマダラが我が家にやってきたとき、あいにく外出中。帰宅後、写真や動画で見せられたけれどやっぱり実物でなければ……。それから花が終わるころまで待ち続けましたが、再び来ることはありませんでした。たった1日の来訪でした。

冬の間、静かに春を待っていたフジバカマも新しい芽をふき、緑の葉をつけています。蝶の飛来に備えてまさに準備中。今年こそ、会いたい。楽しみにしています。先に希望のある幸せ、新型コロナウイルスを恐れる今だから、なお一層強く思います。(W)



## 発達支援巡回相談

### 「窓ぎわのトットちゃん」

(自粛で家の本棚の本を読んでみました。)

トットちゃんは小さいころ楽しいことばかり考える子どもでした。小学校を退学になり、ともえ学園という学校に行くことになりました。

ともえ学園の小林校長はトットちゃんを見かけると、いつも「君は、本当はいい子なんだよ。」と声をかけていました。

そのたびにトットちゃんは「そうです、私はいい子です。」と答え、自分でもいい子だと思っていました。

楽しいこと、ついやってしまうことを受け入れてもらいながら、黒柳徹子さんは楽しいことが大好きな思いやりある大人になりました。

自分の中の自信、つまり「自己肯定感」を持ち続けることができたのは、小林校長との出会いがあったからと言っても過言ではありません。子どもにとって、そんな素敵で大人になりたいものですね。(A)

### 《センター長のつぐやき》空からの贈り物

5月29日の昼下がり、埼玉の友からスカイツリーの上空を飛行するジェットを、新宿の友は新国立競技場上空のジェット、世田谷の友はジェットの写真も送ってくれた。この時は、五輪を描く練習かな？いや違う、とか思いながら休憩時間を終えた。

家に帰ってテレビをつけると、病院の屋上で医療関係者が笑顔で手を振り、時に涙しながらジェットを見つめる光景が映し出された。なんと航空自衛隊「ブルーインパルス」が、コロナ禍で奮闘する皆さんに敬意と感謝を示すために飛行したとのこと。思わず涙が込み上げた。「ブルーインパルス」さんありがとう。



私が昨年骨折したとき励ましてくれた友たち。世田谷の友は、先日交通事故で鎖骨を骨折したとのこと。私が今できること、この友に「大丈夫？頑張っ！」との思いを伝えること。

励ましの輪、思いやりの輪が世界中に広がればいいな。  
(DOIG)



伊予市子ども総合センター  
伊予市総合保健福祉センター2階  
伊予市尾崎3-1 ☎989-6226  
携帯 080-2974-4580

